

Stop! 辺野古新基地建設！大阪アクション 5周年の集い

沖縄戦から見た辺野古の今

—牛島司令官はなぜ住民を巻き添えにしたのか？—

講演:牛島 貞満さん (元小学校教員/牛島満 沖縄第32軍(当時)司令官の孫)

日時:2019年8月25日(日)

13:30 開場 14:00 開会 17:00 閉会

場所: PLP 会館 大会議室

- ・大阪地下鉄 堺筋線 扇町駅4番出口より徒歩3分
- ・JR大阪環状線 天満駅改札口より南側へ徒歩5分
- ・資料代 一般500円 学生300円
- ・集会后 梅田まで辺野古新基地中止を訴えデモをします



☆ 牛島貞満さん プロフィール ☆

沖縄戦を指揮した、旧陸軍第32軍(沖縄守備隊)の牛島満 司令官の孫。幼い頃から「おじいさんは立派な人だった」と聞かされて育った。1978年より小学校教員。94年より沖縄に自ら足を運び、祖父の足取りをたどり、沖縄戦の実相を学び平和教育にも生かしてこられた。退職後、沖縄戦と基地問題に関して、全国で講演しておられます。「旧日本軍は国民を守らなかったというのが、沖縄戦の教訓です」(牛島さん)

アースデイ TOKYO2019 ONE PEACE OKINAWA 企画で講演する牛島さん



牛島貞満さんのお話に学び、沖縄県民とともに辺野古新基地建設を止めましょう

今、沖縄では日本政府による辺野古新基地建設のための埋め立て工事が強行されています。新基地に反対する玉城デニー知事が誕生しても、県民投票で圧倒的多数の県民が「新基地 NO」の世論を示しても、ジュゴンが一頭死亡し、工事による環境汚染が進んでも、政府は一瞥もしようとしません。

この「沖縄切り捨て」政策は今に始まったものではありません。沖縄戦がもつとも過酷な歴史です。「なぜ牛島司令官は住民を巻き添えにする選択をしたのか？」牛島さんは祖父の決断とそれが沖縄県民にもたらした惨禍に向き合い、聞き取り・調査と講演を続けてこられました。現在、政府は辺野古新基地建設とともに、宮古-石垣-与那国を結んだ自衛隊基地建設を進め、「第二の沖縄戦」を準備しているかに見えます。だからこそ沖縄戦に学び、その教訓から沖縄県民とともに行動する方向を見出しましょう。みなさまの参加をお待ちしております。

主催: Stop! 辺野古新基地建設! 大阪アクション

問い合わせ: 市民共同オフィス SORA

TEL/06-7777-4935 FAX/06-7777-4925

大阪アクションは22の市民団体・労組の共同呼びかけによるネットワーク団体です
新たな呼びかけ団体を募集中です

基地建設の強行が始まった
止めるために集まろう

Stop!

辺野古新基地建設!
大阪アクション